

進路だより

スキルアップ

第8号

青森県立八戸高等支援学校 進路指導部 令和5年12月5日発行

〈産業科 現場実習〉

10月下旬から11月上旬にかけて産業科1年生は3～5日間、2年生は2週間、実習を行いました。将来の生活に向けて、日々の学習活動の成果を発揮すべく、実習先での作業に取り組みました。実習後の振り返りを通して、それぞれの課題を確認し、成長に繋げていってほしいと思います。



〔おでんの仕込み〕



〔シーツ畳み〕



〔玄米袋畳み、玄米出し〕



〔商品仕分け〕



実習振り返り

商品の仕分け作業や外の清掃をしました。重い段ボールを運ぶのがとても大変で、体力を付けなければならないと感じました。5日間、体調を崩すことなく、毎日出勤できたことはよかったと思いました。

実習をして、よい経験ができました。自分の課題が分かり、新たな目標ができました。また、普段は遅くまで起きていることが多かったり、ダラダラ行動することがあったりしましたが、早寝早起きをする、時間を意識して行動することがとても大切だと思いました。

初日は少しでも間違えたら実習がなくなるとい、緊張をしながら仕事をしていました。会社の方が、優しく接して下さったので自分もそれに応えることができるように頑張りました。ミスをしてしまうこともあったので、油断せずに働きたいと思いました。自分の課題が見え、これからすべきことが分かりました。とてもやりがいのある職場でした。

私は食品関係の工場へ実習に行きました。1日目は水切りのコツが分からず、苦労しましたが職場の方にコツを教えていただき、スムーズに作業することができました。立ちっぱなしの仕事に慣れていなかったからか、こんなにも足が痛くなるんだなと思いました。電車が遅れて、職場に遅刻したとき早く仕事をしたいという気持ちになりました。

初めての实習でした。分からないことはすぐに相談することを意識しました。重い物を持ったり、移動させたりする作業で自分一人の力では難しいときは、他の職員と協力して仕事のできたのが良かったです。仲間と協力することが大事だと感じました。立ちっぱなしの仕事に慣れておらず、初日から立ちっぱなしの作業で疲れましたが、職場の人達が優しく声をかけてくださったので最後まで頑張ることができました。弱音を吐かず実習に取り組めたので充実感があります。とてもよい経験ができて良かったです。

巡回時は実習先の方から「疑問があればすぐに相談ができ、テキパキ働いています。」と褒めていただきました。黙々と仕事をこなす様子や休憩時は職場の人ともおしゃべりをするなどコミュニケーションをとっていたのが印象的でした。この経験を生かし、さらに成長していったほしいと思います。(巡回担当)



10月30日から11月10日までの9日間スーパーで実習しました。今回の実習の目標は、「1、指示通りに正確に作業をする。2、体調管理をして毎日仕事をする。3、どんな人にも挨拶や返事をする。」でした。1つ目の目標では、農産の方の指示を聞き、正確に作業することができました。また、分からないことがあった時はすぐに確認に行くことができたので来年の実習でも継続していきたいです。2つ目の目標では、体調管理をして毎日仕事に行くことはできたけれど、寝る時間や起きる時間がバラバラだったので、規則正しい生活を心がけて生活したいと思います。3つ目の目標では、作業に集中しているときに挨拶を忘れてしまうことがあったので日々、学校生活で気を付けて生活していきます。また、スーパーなどの実習に行く機会があれば、作業に集中していても挨拶をできるように授業で練習していきたいです。今後の目標は6時間勤務なので来年は6時間働きたいです。

仕事を指示するとすぐにやり方を覚え、取り組んでいます。一人分の仕事として助かっています。と職場の方からうれしいお言葉をいただきました。実習中も失敗から改善を図り、2週間目標達成に向けて努力していました。次回の実習の目標もつけられたようなので日々の授業の中で実践してほしいです。(巡回担当)